

南西からみた周辺イメージ



西側からみた外観イメージ

### 整備予定スケジュール

信濃美術館(本館)は、次回の善光寺御開帳が開催される2021年度に開館する予定です。  
また、東山魁夷館は、2019年秋にリニューアルオープンする予定です。

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 善光寺御開帳
信濃美術館 (本館)	実施設計	新築工事		OPEN 予定
	解体工事			
東山魁夷館	改修工事	OPEN 予定		
城山公園 (噴水広場)	実施設計	公園工事		OPEN 予定

※工事の進捗状況等によって、スケジュールが変動することがあります

### 問い合わせ先

長野県 県民文化部 文化政策課 信濃美術館整備室  
 〒380-8570 長野市大字南長野字幅下 692-2 TEL: 026-235-7283  
 信濃美術館整備に関する情報(長野県ホームページ Web site 信州) FAX: 026-235-7284  
<http://www.pref.nagano.lg.jp/seibun/shinanobijutsukan.html> E-mail: shinbi@pref.nagano.lg.jp  
 ホーム > 教育・子育て > 文化・芸術 > 文化・芸術 > 信濃美術館整備に関する情報

※このリーフレットの内容は、平成30年(2018年)11月現在のものです。今後変更となる可能性があります。

### MAP



# 新しく生まれ変わる 信濃美術館

〈ランドスケープ・ミュージアム〉



## 信濃美術館の設計がまとまりました

## 建築のコンセプト

### ランドスケープ・ミュージアム

善光寺側から東側道路に至る高低差を活かし、建物が突出することなく、周辺の風景の中に溶け込むことを大きなコンセプトとしています。その上で、城山公園全体の歴史と将来像を考えながら、公園だけでなく、善光寺東公園や東側神社の杜との連続性を意識して、ランドスケープと建築を一体的に計画しました。

### ユニバーサルデザイン <3つのレベル>

公園と1階、南側道路と2階、さらに東側道路と3階を接続し、3つのレベルに対応した床レベルを設定することで、地階を除く全ての階が水平移動のみで入館できます。年齢や障がいの有無に関わらず、全ての人々が美術に親しむことができます。

### 「屋根のある公園」

新しい信濃美術館は、国宝を含む多様な作品の展示に対応できる「公開承認施設」の条件を満たす一方、県内の美術団体や県民が多目的かつ自由に利用できるスペースへの要望に応え、公園との一体利用を視野に入れた「屋根のある公園」（右図、緑色部分）と呼ぶ新しいスペースを創出しました。

## 建物（本館）の概要

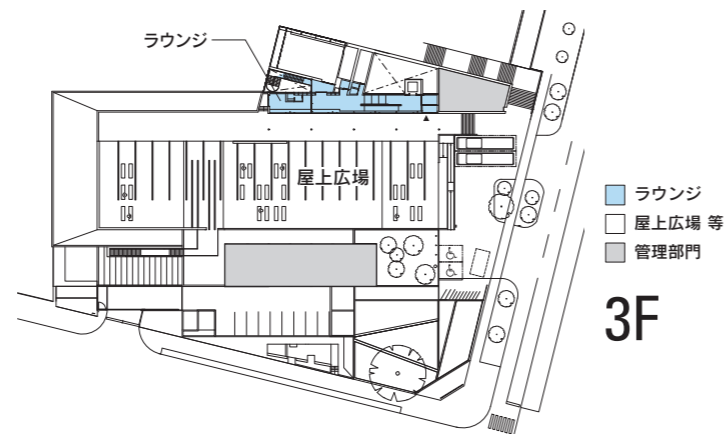
所在地：長野市箱清水（城山公園内）  
 延床面積：10,000㎡  
 構造：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）  
 地上3階，地下1階

## 設計者

株式会社プランツアソシエイツ（東京都中野区）  
 代表取締役 宮崎 浩

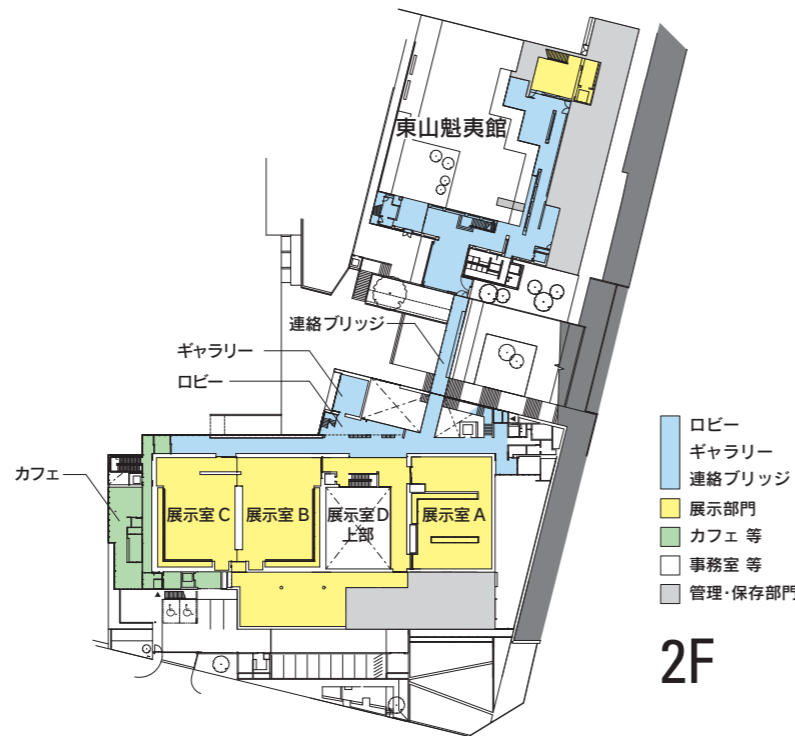
## 各階主要室面積

階数	主要室名	面積
3F	ラウンジ	40㎡
2F	展示室 A	439㎡
	展示室 B	453㎡
	展示室 C	431㎡
	ギャラリー	54㎡
1F	展示室 D	517㎡
	交流スペース	318㎡
	アート・ライブラリー	165㎡
B1F	県民ギャラリー	493㎡
	多目的ルーム	307㎡



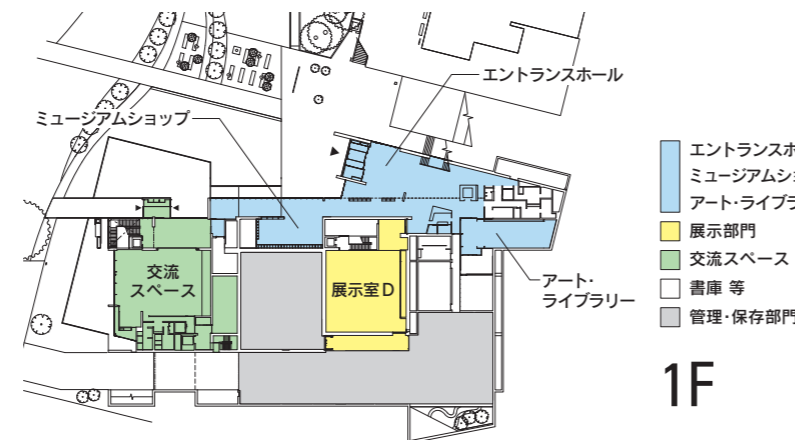
- ラウンジ
- 屋上広場 等
- 管理部門

3F



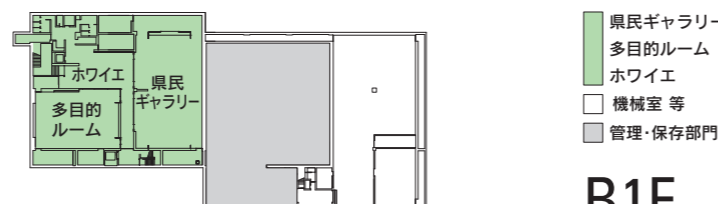
- ロビー
- ギャラリー
- 連絡ブリッジ
- 展示部門
- カフェ 等
- 事務室 等
- 管理・保存部門

2F



- エントランスホール
- ミュージアムショップ
- アート・ライブラリー
- 展示部門
- 交流スペース 等
- 書庫 等
- 管理・保存部門

1F

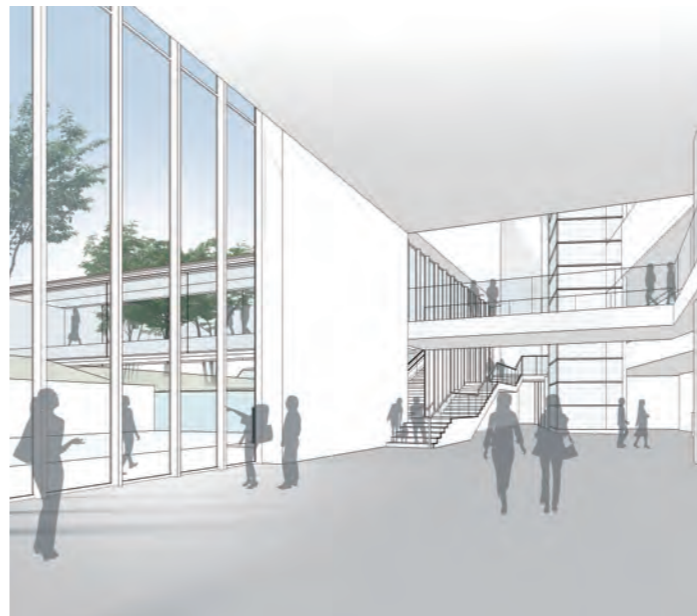


- 県民ギャラリー
- 多目的ルーム
- ホワイエ
- 機械室 等
- 管理・保存部門

B1F



## 主な施設の概要



### エントランスホール [1F]

東山魁夷館と向かい合い、本館への主要アプローチとなる3層吹抜けのエントランスホール。独立したエレベータや大階段などを配する開放的な空間とし、本館のメインエントランスとして来館者動線をさばくだけでなく、式典や小規模イベント、団体来館者への案内等、多目的に利用できるスペースです。



### 展示室 D -2層に渡る展示室 - [1F]

美術館の中央に位置する展示室Dは、「展示空間の顔」ともなる、来館者の期待を高める空間です。2層吹抜けの空間は大型の現代美術等の展示も可能であり、1階・2階の両方から鑑賞することができます。展示室B・展示室Cと合わせて様々な展示に対応できるフレキシブルな展示空間です。



### 交流スペース [1F]

誰でも気軽に憩うことができ、ワークショップや、創作体験プログラムなどに使う多目的スペースです。作家の創作過程を公開するオープンギャラリーや映像作品を投影する連続した2面の壁面（L字型）を設置します。



### 県民ギャラリー [B1F]

美術団体や自主グループの展覧会等、県民の皆さんの作品発表のためのスペースです。可動パネルを使って、規模に応じて分割利用できます。駐車場から専用エレベータを使って直接作品の搬入ができます。



### 多目的ルーム [B1F]

講演会やシンポジウム、連続講座、ミュージアムコンサートなどを行う施設です。簡易収納ステージを備え、客席数はおよそ160席まで対応できます。ステージを収納することにより、フラットで汎用性のある施設としても利用できます。（県民ギャラリーとの一体利用も可能）



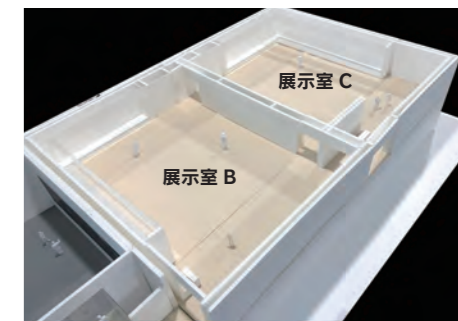
### アート・ライブラリー [1F]

美術に関する書籍、展覧会カタログ、雑誌・新聞等を備えた閲覧や調査・研究のための施設です。一般来館者のための閲覧室のほか、研究者のためのスペースを設置しています。



### 展示室 A [2F]

収蔵品の展示をメインとし、洋画・日本画・工芸など、ジャンルごとの展示を想定した3つのエリアで構成しています。可動パネル、自立展示ケース等を備え、回遊性のある動線により、多様な鑑賞が楽しめる展示空間です。



### 展示室 B,C [2F]

企画展のための展示施設で、国宝・重要文化財の展示のための環境条件を満たす仕様としています。B,C合わせて884㎡の面積があり、壁面展示ケースや可動展示壁を使って様々な展示計画に柔軟に対応できます。